

女性の視点で 防災・災害復興に取り組む

—「震災と女性」調査をふまえて—

昨年、NPO法人イコールネット仙台が県内で東日本大震災を経験した女性を対象に実施したアンケート調査によると、約9割の人が「復興は進んでいる」と回答する一方、生活環境の変化や心身の不調に悩む声も少なくありませんでした。

震災から11年経過した今、何が変わって何が変わらないのか。女性の視点からみた防災・災害復興についてお話し頂きます。ぜひご参加ください。

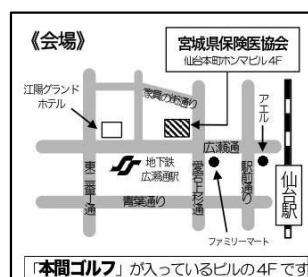
日 時 2022年9月3日(土) 14:00~16:00

講 師 NPO法人イコールネット仙台 常務理事 **むなかた えみこ 宗片 恵美子 氏**



形 式 Web配信(Zoomウェビナー) + 会場参加(定員20名)

会 場 宮城県保険医協会 会員研修ルーム
(仙台市青葉区本町2-1-29 仙台本町ホンマビル4F)



対 象 どなたでも参加できます。

お申込み 裏面をご確認ください。

講師よりメッセージ

震災から11年、イコールネット仙台は、被災女性への支援や地域防災向上に向けた活動、女性防災リーダーの養成等に取り組んできました。

この間、「女性たちの現在」を知るために、「災害時における女性のニーズ調査(2018)」、「東日本大震災における『震災と女性』に関する調査(2011)」そして「震災から10年を振り返る『震災と女性』に関する調査(2021)」を実施し活動をすすめきました。震災により、女性たちの暮らしにどのような影響が生じたのか。女性たちを取り巻く環境は変わったのか、そして一人ひとりの復興は果たされたのか。

私たちは今、女性の視点は、まさに人権と多様性を重視した視点であることを伝えながら、震災を経験した責任において幅広い備えの必要性を伝え続けています。

主催:宮城県保険医協会 女性部

TEL 022-265-1667 FAX 022-265-0576 Eメール miyagi-hok@doc-net.or.jp



お申込みは裏面へ